北区自治協議会（第 9 期）を振り返って

北区自治協議会会長 前田 義憲

1 はじめに

令和 5 年度からの第 9 期区自治協議会は、委員定数 30 名中、新メンバー 16 名でのスタートとなりました。

今期は、第 8 期で策定された「北区区ビジョンまちづくり計画」施行の年となり、新たな北区の将来像を掲げ、北区のまちづくりに取り組んできました。

今期より区自治協議会提案事業は、1 年目を調査・研究の年、2 年目で事業実施という手法としました。令和 5 年度は、各部会で所管分野の地域課題などを調査・研究し、その調査・研究で得た見識をもとに、提案事業の内容を検討したことで、令和 6 年度に実施した事業内容が充実したものになったと考えています。

また、令和 6 年元日には、能登半島地震が発生し、災害に対する備えや、地域コミュニティの重要性を改めて感じました。区自治協議会では、全体委員研修会や市危機管理防災局主催の広聴会において、意見交換や課題の検討を行い、様々な課題を認識する機会となりました。

それでは、第 10 期委員の区自治協議会活動の参考としていただきたく、第 9 期 2 年間の活動成果や課題などについて報告します。

2 取組内容・成果・課題

(1) 全体会について

ア 会議運営

新型コロナウイルス感染症も落ち着き、会議形式を口の字（対面形式）に戻し、向かい合って意見を交わす良さを感じながらの議事運営となりました。

また、月 1 回の会議が有意義な時間となるよう考慮しながら会議運営を行いました。活発な意見交換を目指してきましたが、本会議で意見を述べることに抵抗を感じる委員も多く、幅広く発言を促すことに課題を感じました。

区民と行政を結ぶ要の機関として、その役割を果たすために議論を重ね、持続可能な会議運営を行ってきました。

イ 区自治協議会委員研修会の実施

令和5年度は、委員からの要望が多かった他区自治協議会委員との交流を目的として、東区自治協議会と合同で研修を実施しました。部会ごとに意見交換を実施し、大変有意義な時間となりました。

令和6年度は、北区の歴史を再確認するために、北区郷土博物館見学を行いました。学芸員から展示解説をしていただき、最後に意見交換の場も設け、北区の歴史を改めて知る良い機会となりました。

(2) 部会・提案事業について

ア 総務部会

総務部会は、区自治協議会全体の運営、協議内容の検討、区自治協議会だよりの編集を所管する部会です。

全体会の内容を事前に確認し、より活発な区自治協議会とするにはどのようにすべきか検討を行いました。

イ 地域づくり部会

地域づくり部会は、商工業、農業、大学などとの連携、道路、土地利用、公共交通、防災分野を所管する部会です。

令和5年度は、「防災」を調査・研究のテーマに設定し、「ハザードマップの見方講習会」、「福島潟及び新井郷川の治水事業についての講演」、「長岡震災アーカイブセンターきおくみらい」視察などを通して、防災について学びました。

令和6年度は、公募により「絵札・読み札」を募り、「北区防災かるた」を作成しました。北区の水害の歴史に関する札もあり、北区特有の「かるた」になりました。また、「かるた」を北区内の小学校、中学校に配付するとともに、「北区ふゆっこまつり」に出展し、多くの子どもたちに体験してもらいました。

ウ 福祉教育部会

福祉教育部会は、健康、福祉、子育て、教育、協働、防犯・交通安全分野を所管する部会です。

令和5年度は、「地域活動の担い手不足（見守り・子育て支援・交通安全）」を調査・研究のテーマに設定し、「地域の茶の間」の活動状況、振り込め詐欺・空き巣の被害防止などについて、専門職員などから研修を受けました。その他、前年度好評だった新潟医療福祉大学と連携した健康講座を実施しました。

令和6年度は、地域活動に参加したいが地域との関係が薄い人などに向けて地域活動への参画を促す「これからの人生の遊び方・過ごし方～得意なことから地域に出よう～」と題し、NAMARA 代表の江口歩さんを講師に招き講演会・ワークショップを行いました。

エ 自然文化部会

自然文化部会は、環境保全、自然環境活用、観光対策、文化・スポーツ、浸水対策分野を所管する部会です。

令和5年度は、「北区の魅力ある景勝地・施設等をめぐり、専門家等の話を聞き、学習する」を調査・研究のテーマに設定し、北地区の景勝地や福島潟を船で巡る、潟料理を味わうなど、北区の魅力を体感しました。

令和6年度は、前年度の調査研究を参考に検討し、自身で感じた北区の魅力を発信する事業として「トークセッション「潟料理の魅力を語る」」を実施しました。福島潟の魅力、潟料理の紹介、その他北区の魅力をトークセッションや北区魅力クイズを通して発信しました。

※提案事業の具体的な成果・課題等については、添付の事業評価書を参照ください。

3 おわりに

第9期は、新たな「北区区ビジョンまちづくり計画」施行の2年間として、新たに掲げた基本方針のもと、大学との連携や区自治協議会提案事業を通じた防災意識の啓発、自然の魅力発信などに取り組みました。

今後、少子高齢化が進行し人口が減少するなか、区民や行政、多様な機関との連携による「まちづくり」が一層重要となります。

第10期では、協働の要として更なる活動の活性化が図られることを期待します。